



## 2022 年のための提案されたアマチュア資格規則

---

見直し、規則のドラフト、提案の説明

R&A Rules Limited and the United States Golf Association  
2021 年 2 月 22 日

---

フィードバック期間は 2021 年 2 月 22 日—3 月 26 日

フィードバックは email で :

The R&A at [AmateurStatusFeedback@randa.org](mailto:AmateurStatusFeedback@randa.org)



## アマチュア資格規則の近代化構想の概要

R&A と USGA はアマチュア資格規則の大幅な変更についての提案を発表することを嬉しく思います。これらの変更は複数年にわたる近代化構想の結果です。この近代化構想は、今日の全世界のアマチュアゲームを反映した時代に合った規則にすること、そして規則をより簡単に理解、そして適用できるようにすることの明確な必要性を確認しました。

**背景(バックグラウンド) :** 2017年に、R&A と USGA はアマチュア資格の近代化構想に着手することに大筋が合意し、現在のアマチュア資格規則を分析し、各規則の歴史を調査し、そして現在の規定のどれがアマチュアゲームを守るために重要であり続けるのかをはっきりさせることにしました。

現在の規則に関して生じた主な懸念をまとめると以下のようになります :

- ▶ 規則はエリート・アマチュアゲームがトーナメントプロとしての成功を望む多くの若いプレーヤーにとっては、その過程である事実を反映していない。
- ▶ ゴールを追い求める中で失敗に終わった多くのプレーヤー達が、プロフェッショナルゲームにまったく影響を与えることのない賞金のあるツアーへの参加を通じてアマチュア資格を喪失している。
- ▶ 金銭と金銭以外の賞との区別はその論理的な区別が不明確であるという点で不明瞭なものになってきている。
- ▶ エリート・アマチュア競技に参加するための資金を求めるエリートアマチュアゴルファーにとって非常に多くの障害がある(その資金は多くの場合、高額である)。
- ▶ 私的な便宜を受けるためにゴルフの手腕や名声を使用することを扱う規則は理解するのがとても難しく、そして普及したソーシャルメディアの使用により管理することがより難しくなってきた。

**見直しの目的 :** 定められた見直しの目的はアマチュア資格規則が近代のゲームで必要とされているのかどうかを決定し、必要とされているのであれば以下の規定を作ることです。

1. ゲームにとって最もためになるもの。
2. 近代のゲームを反映するもの。
3. より簡単に理解でき、適用できるもの。

「オープンゴルフ」(アマチュア資格が完全に廃止されることを意味する)の初期段階の分析では次の主な懸念が明らかになりました。

- ▶ ゴルフ規則とハンディキャップ規則の両方を脅かすという観点から、制限のない賞がハンディキャップゴルフへの悪影響を生み出すこと。

- ▶ アマチュアゴルファーの概念がなくなれば、歴史のあるアマチュア競技が根絶することも避けられないので、そのようなチャンピオンシップがなくなってしまうこと。
- ▶ そのようなエリート・アマチュアイベントがこのゲームの中で前進していくことを望んでいる大多数のエリートプレーヤーに提供する重要な舞台と明確でよく理解された進路を考えると、それらのイベントが無くなることで若いゴルファーの発展に悪い影響を与えること。

「オープンゴルフ」の検討はすべてのレベルのアマチュアゲームの誠実さを守るために規則が果たす大きな役割を強化するうえで重要でした。近代アマチュアゲームは自己規制をそのまま残し、そして賞の制限はゴルフ規則とハンディキャップ規則を脅かすことを最小限にするという重要な役割を果たします。

最終的に、見直しの目的に従って、R&A と USGA はアマチュア資格を残すことはゲームにとって最もためになるとの結論に至りました。

**提案された新しい規則**：提案された新しい規則はアマチュアとプロフェッショナルゴルフとの区別を引き続き残します。そして、統一した資格条件を規定します。アマチュア資格は、ゴルフ競技で競技するアマチュアのためのものです。

提案された新しい規則は、ゴルフは概して自己規制をしており、そしてアマチュアゴルファーが競技での成績に基づいて受け取ることが認められる賞の額を制限し、ゴルフ規則やハンディキャップ規則を脅かすことを最小限にすることによってこの規則はゲームの誠実さを守ることを援助するために存在していることを引き続き認識します。

規則の理解と適用をより簡単にすると同時に、アマチュアゲームにとって最もためになり現代のゲームを反映する規則を規定するための近代的な試みの一環として、新しい規則は次のように提案されています：

- ▶ 賞金と他の賞との区別を廃止する。
- ▶ ティーからホールへの競技としてプレーされないロングドライブイベント、パッティング競技、技術競技をこの規則の範囲から削除する。
- ▶ すべてのスポンサー関連の制限を廃止する。
- ▶ より短いアマチュア復帰待ち期間を規定する。

簡単に言うと、ゴルファーがアマチュア資格を喪失することになる唯一の行動は：

- ▶ 限度額を超える賞を受け取ること(つまり、限度を超える賞がある競技でプレーすること自体は、アマチュアまたはプロフェッショナルであるかに関わらず、それ自体はプレーヤーのアマチュア資格に影響しない)。
- ▶ 技術指導をして報酬を受け取ること。
- ▶ ゴルフクラブプロフェッショナルとして雇用されること、またはプロフェッショナルゴルファーの協会の会員となること。

## フィードバックと実施の過程：

- R&A と USGA は見直し過程の全体にわたりフィードバック期間にゴルフコミュニティーに  
関与してきました。そのコミュニティーには、国の連盟、州の協会、世界的なプロフェッ  
ショナルゴルフ協会(PGAs)、世界的なツアー、NCAA、そしてエリートレベルのアマチュ  
アたちを含みます。
- 公のフィードバック期間は 2021 年 2 月 22 日～3 月 26 日となります。
- この期間が終了後、私達は規則変更を引き続き再評価し、適切な変更を行い、私達のそれぞ  
れのアマチュア資格委員会や役員会から最終の承認を得ます。
- アマチュア資格の新しい規則は 2022 年 1 月に施行となる予定です。
- アマチュア資格の提案された規則の案を更に洞察する為に、現在の規則、提案された新しい  
規則を詳述した説明書と、変更が提案された理由や規則、または規則の一部が変わらずに残  
る理由についての私達の論理的根拠が添付いたします。扱われているトピックには以下を  
含みます。
  - 賞
  - 費用
  - 宣伝と広告
  - 技術指導
  - プロフェッショナリズム
  - 復帰

フィードバックは、email で R&A にご連絡下さい。

[AmateurStatusFeedback@randa.org](mailto:AmateurStatusFeedback@randa.org)

## アマチュア資格規則

### 規則 1: 規則の目的

アマチュアゴルフは、アマチュアゴルファーに制限された競技の歴史を含め、このゲームの中に長い伝統を持っている。アマチュア資格規則はアマチュアゴルファーとして競技する権利のある人を定めている。

ゴルフは概して自己規制をしており、ゴルフ規則とハンディキャップの規則を脅かすことを最小限にすることによってゲームの誠実さを守っている。アマチュア資格規則は、競技での結果に基づいてアマチュアゴルファーが受け取ることができる賞の価格を制限している。

また、アマチュア資格規則はアマチュアゴルファーと、ゴルフプロフェッショナルとして雇用される、あるいは報酬のために技術指導をするノンアマチュアゴルファーとを区別している。

### 規則 2: アマチュアゴルファー

すべてのゴルファーはアマチュアである。ただし、次の場合を除く：

- \$750 を超える賞を受け取る(規則 3:賞を参照)；
- 技術指導をして賃金や報酬を得る(規則 4:技術指導を参照)；
- ゴルフクラブ、またはドライビングレンジのプロフェッショナルとして雇用される(自営業を含む)；または、
- プロフェッショナルゴルファーの協会の会員となる。

これらの行動をとるアマチュアはノンアマチュアとなり、アマチュアとして復帰するまでノンアマチュアのままとなる(規則 5:アマチュアゴルファーとしての復帰を参照)。

### 規則 3: 賞

アマチュアは、競技ごとに\$750 を限度に現金その他の通貨を含めすべての賞を受け取ることができる(ただし、国の統轄団体がより低い限度額を設定した場合を除く)。金銭以外の賞については、その賞の限度額は、その賞を受け取る時点でその物を通常購入することができる価格となる。

賞の限度額は以下に対して適用する：

- 競技がプレーされる場所に関わらず(例えば、ゴルフコース、またはゴルフ・シュミレーター)、ホールスコアのスコアが関連するティーからホールへのゴルフ競技。
- ティーからホールへのゴルフ競技中にショットがプレーされる場合の技術競技。
- 賞の限度額は1つの競技、または同時に運営されている複数の競技(例えば、スクラッチとハンディキャップ競技)で受け取る合計の賞に適用する。

限度額は次の場合には適用しない。

トロフィー、その他類似の賞の価値。

- ロング・ドライブ競技、ターゲット競技、特定の技術に関する競技、トリックショット、パターだけの競技(ただし、そのショットがティーからホールへのゴルフ競技中にプレーされる場合を除く)。
- ゴルフコース上でのゴルフのラウンド中、またはゴルフのラウンド外で開催されたコンテスト中に起きたホールインワン。ただし、距離が 50 ヤード以上あることを条件とする。
- 個々のゴルファー間、またはチーム間のギャンブル、賭け(ギャンブルに関する R&A と USGA の方針を参照)。
- 同じ競技の次のステージで競技するための費用(ただし、次のステージで競技することが賞となっているハンディキャップ競技については、「次のステージで競技することが賞となっているハンディキャップ競技に関する R&A と USGA の方針」を参照)。

#### 規則 4: 技術指導

技術指導とは、ゴルフクラブをスイングして球を打つ技巧(メカニクス)を教えることを意味する。アマチュア資格規則は他の種類のティーチングやコーチング(例えば、フィットネス、ゲームの心理的側面)には適用する。

技術指導をしたことに対して賃金や報酬(有給の職務を含む)を受けたアマチュアはノンアマチュアとなる。

しかし、アマチュアは、次の状況では技術指導をすることに対して賃金や報酬を受けることができる:

- 国の統括団体によって事前に承認されたプログラムの一部として(承認されたプログラムに関する R&A と USGA のガイドラインを参照)。
- 学校、大学、キャンプの従業員として与えられた技術指導の一部として。ただし、技術指導をすることに費やした時間がその職場の従業員としてのすべての業務の実務に費やす時間の 50%未満であることを条件とする。
- 技術指導が文章、オンラインで提供され、かつ特定の個人やグループを対象としたものでない場合。

#### 規則 5: アマチュアゴルファーとして復帰すること

ノンアマチュアは、該当する国の統括団体によってアマチュアに復帰することができる。

各国の統轄団体は以下の唯一の権利を持っている:

- 権限の区域内に居住するノンアマチュアを復帰させること。
- 復帰する前に待ち期間を与えること。

- 復帰を認めないこと。

復帰に関する国の統括団体の決定は、その団体により決められた上訴手続きを条件に最終となる。

#### **規則 6: 規則を適用すること**

国のゴルフ連盟や協会とはその権限の区域内でアマチュア資格規則の運用及び適用に責任を有するその国の統轄団体であり、他の区域で発生したが、その権限区域内に居住する者が関わる問題にも責任を有する。

ある人がアマチュアなのか、ノンアマチュアなのかを含め、規則の適用について不確実である、または疑義がある場合、国の統括団体は最終の裁定を行う権限があるが、裁定を行う前にその問題を R&A(または USGA)に照会することができる。

規則の適用についての国の統括団体の決定は、その団体により決められた上訴手続きを条件に最終となる。

## 提案されたアマチュア資格規則の説明 賞

**現在の規則：**賞には 2 つのタイプがあります。(i)賞金(そして同等のもの)と(ii)金銭以外の賞で、それぞれに異なった制限があります。

現在の規則 3 はアマチュアゴルファーに次のことを禁止しています：

- 賞金のためのプレー(その金額にかかわらず)；または、
- \$750 の賞品の限度額(国の統轄団体によってこの限度額以下の制限が設けられている場合はその金額：日本では 75,000 円)を超える金銭以外の賞を受け取ること。

規則 3 は現在、プレーヤーがクラブと球を使用するほとんどすべての競技に適用されます。

**提案された新しい規則：**提案された新しい規定は：

- 賞の限度額の\$750 は残りますが、賞金と金銭以外の賞という区別はなくなります。
- 賞の受領が、いつプレーヤーがアマチュア資格を喪失するのかを決定する際の基準の要素となります。つまり、プロフェッショナルとして競技に参加する、またはプレーすること自体はアマチュア資格を喪失する結果にはなりません(「プロフェッショナリズム」を参照)。
- 賞の規則はプレーヤーにティーイングエリアからホールにプレーすることを要求する競技(そのようなシミュレーターでの競技を含む)にだけ適用し、他の競技、例えば、ロングドライブイベント、パッティンググリーン、そしてティーからホール競技の一部としてはプレーされない技術競技には適用しません。

**提案の説明：**

- ゴルフは概して自主規制であるので、ゴルフ規則とハンディキャップ規則を脅かすことを最小限にすることによりゲームの誠実さを守ることを助けるために、アマチュア資格規則は競技での成績に基づいてアマチュアゴルファーが受け取ることが許される賞の額を制限しています。
- この理由のために、規定は\$750(US ドルか、国の統轄団体はその管轄区域での通貨で定めたそれ以下の額)の賞の限度額を残します。

**認められる賞金：**

- 商品券の使用制限は直近の規則でかなり緩和されたので、使用制限は事実上無くなり、商品券は現金とほぼ同等となっています。
- 支払いのシステムは進化し続けていて、賞金と、現金と同等なもの(現在は額にかかわらず禁止されている)との違いが多く複雑な問題を生み出していました。
- これらには、かつてないほど普及しているギフトカードやモバイルやアプリベースの支払



いシステムを含みます。

- これらの支払形式はより一般的になっていくだけなので、アマチュアゴルファーは賞金を含め、そのような賞が限度額を超えないという条件で、どのような賞(賞金を含む)でも受け取ることができるようになります。
- 賞の受領
  - 現在の規則では、ゴルファーがそのような賞金を獲得するのに十分な良いプレーをしたのかどうかにかかわらず、いかなる額でも賞金のためにプレーすることが禁止されています。
  - しかしながら、現在の規則は金銭以外の賞を別に扱っていて、アマチュアは高額な賞のためにプレーすることができますが、賞の限度額を超える金銭以外の賞を受け取った場合にだけ違反となります。
  - 上記の理由から賞金を認めることを認識することにより、アマチュアゴルファーが限度額を超える賞を受け取った場合にだけアマチュア資格を喪失することになります。
- これらの2つの変更案は、説明と理解を簡単にする明らかに定められた「明確な基準」を持つ規則を生み出します。つまり、アマチュアゴルファーは限度額を超えた価値のあるいかなる賞も受け取ることができません。
- この規則はプレーヤーのホールスコアが主要な目的ではない競技には適用されません。ロングドライブコンテストや他の技術のチャレンジのようなイベントの賞はゴルフ規則やハンディキャップ規則を脅かすことを生じさせないので、自己規制というゲームの特性に影響しないからです。

## 提案されたアマチュア資格規則の説明

### 宣伝と広告；氏名、画像、肖像を利用すること

**現在の規則：**規則 6 はエリートレベルでプレーするアマチュアが自分の氏名、画像または肖像を宣伝や広告に露出して金銭的利益や私的な便宜をその見返りとして受けることを制限しています。この規則はエリートレベルではプレーしないアマチュアには適用しません。

- エリートアマチュアゴルファーは、宣伝、広告や販売に対して、宣伝、広告や販売のために第三者に自分の名前、画像または肖像を使用されるのを許すことに対して、支払い、報酬、私的便宜またはいかなる金銭的利益を、直接的にも間接的にも受けることはできません。
- この規則はアマチュアが報酬を受けない場合にも適用します。なぜなら、そのアマチュアはそのような宣伝または広告活動に参加することに対して私的な便宜を受けているとみなされるからです。
- この規則には多くの例外があり、以下を許すことを含みます：
  - アマチュアの国、地区、州または郡のゴルフ協会や広く認められたチャリティーのための宣伝・広告。
  - 技術指導を含まないことを条件とする放送と執筆。
  - 奨学金(例えば、大学に出席するための授業料や生活費)の受領。

**提案された新しい規則：**提案された規則は、費用の受領を制限しないことを含めて、アマチュアがどのように自分の名前、画像または肖像から利益を得ることに関していかなる制限も規定していません(費用を参照)。

### この提案の説明：

- ソーシャルメディアの導入が、アマチュアが金銭的利益、または私的な便宜(自分への注目度を高めることを含め)を受けることを禁止する現在の規則は実行不可能であり、国の統轄団体が監視することも不可能であるという状況を生み出してきました。
- 認められる行動、認められない行動の妥協点を見つけることは、プレーヤー、スポンサー、そして国の統轄団体にさらなる混乱を招き、そして修正する規則の理解と適用を簡単にするという目的に合致しません。
- ナショナルチームや大学のプログラムに選出されたアマチュアは、ほとんどの他のアマチュアが受けることのできない大きな利益(無料の、または割引された授業料を受け取ることと同様に旅費、エントリーフィー、技術指導、用具、そして生活費が含まれる)を受けることを現在認められています。そしてスポンサーがそのようなチームやプログラムに与える援助のためにそのスポンサーの認知度をさらに高める可能性もあります。
- 国や大学のプログラムに入れなかったアマチュアは可能性のあるスポンサーからの費用や

他の援助を受ける見返りに自分の氏名、画像または肖像を利用させることが規則で制限されている中で費用を賄う方法を現在は見つけなければなりません。

- 現在の制限を削除し、アマチュアとスポンサーに援助が提供されていることを公表するのを認めることは、全てのアマチュアに自分の費用への援助を捜すための同じ機会を認め、アマチュアゲームの更なる公平性を作り出すことを助けるでしょう。

## 提案されたアマチュア資格規則の説明

### 費用

**現在の規則：**規則 4 はアマチュアがゴルフ競技に関連して費用の負担の援助を受けることを通常は禁止しています。しかしながら、その費用が報告されて国、地区、州のゴルフ協会によって承認されることを条件に、いくつかのケースでは費用負担が認められています。

アマチュアがエリートレベルでプレーする場合、その援助元を広告や宣伝してはなりません。

学校や倶楽部のチームやスポンサー付きハンディキャップ競技に関する費用だけでなく、より一般的なゴルフ関連費用を含め、いくつかの例外は費用の受領を認めています。

**提案された新しい規則：**提案された規則では、援助が宣伝や広告活動に関与することの見返りにアマチュアが援助を受けることを含め(宣伝や広告；氏名、画像、肖像を参照)、アマチュアが費用を賄う方法に関してもはや一切制限をしていません。

### 提案の説明：

- ▶ レクリエーションのゴルファーはプレーの頻度を制限することでゲームに関する自分の出費を管理することができますが、エリートレベルの競技ゴルフでは、エントリーフィー、交通費、宿泊費、レッスン、練習、フィットネス、用具を含め費用を負担するためかなりの投資が必要となります。
- ▶ アマチュアが外部の援助を受けることを認める現在の許可は 2012 年に導入されただけでした。そして、今提案されている通り、残されている限られた制約は最終的には完全に削除されることを考えてこの導入は行われました。
- ▶ 2012 年に行われた変更は、アマチュアがエリートレベルで競技をするのに合理的に必要とされるものを第三者が負担するという意味で、全般的に提供を受ける援助の範囲は自主規制されるという考え方に基づいて行われました。そして、その通りでした。
- ▶ 制限の撤廃により、とても市場性の高いアマチュアタレントが、ゴルフ費用を超える大きな援助を受けることができます。この種の例外的なケースがエリートや他のアマチュアがゲームでの彼ら・彼女らの成長を支援するより適度な資金の獲得を認める上で必要とされる道筋だと考えられます。
- ▶ 宣伝や広告活動に関する制限に関連した廃止は、アマチュアの費用の援助元を管理したり、監視する必要がないことについてさらに論理的な根拠を与えます。アマチュアが企業を宣伝することに対して金銭的報酬を直接得ることができれば、どのような費用が支払われたのかを管理することはもはや必要ありません。
- ▶ ナショナルチームや大学のプログラムに選出されたアマチュアは、ほとんどのアマチュアプレーヤーが得ることのできないかなりの費用を受けることが現在認められています。
- ▶ 国や大学のプログラムに入れなかったアマチュアは、援助元を国、地区、州のゴルフ連盟や協会に報告しなければならない一方で、その援助元を公に言及することはできないという

中で費用を負担する方法を現在は見つけなければなりません。

- この現在の複雑な報告手続きと制限を削除することはすべてのアマチュアに自分の費用への援助を捜すための同じ機会を認め、アマチュアゲームの更なる公平性を作り出すことを助けると考えられています。

## 提案されたアマチュア資格規則の説明

### 技術指導

**現在の規則：**アマチュアはゴルフの技術指導をすることに対していかなる報酬も受け取ることができません。これには、技術指導が有給の職務の一部として、または他のサービスや物の見返りとする場合を含みます。

技術指導はゴルフクラブをスイングしてゴルフボールを打つ実際の技巧(メカニクス)を教えることとして狭く定義されています。

アマチュアが例外として以下の技術指導をして報酬を受けることができます。

- 教育機関やキャンプに雇用される場合。ただし、技術指導がその仕事をするに費やす時間の50%未満であることを条件とする。
- 国の統轄団体によって認可されたプログラムの一環として行っている間。
- 文書による技術指導(例えば、本の出版や雑誌の記事など)。

**提案された新しい規則：**この規則は概ね変更されずに残ります。ただし、技術指導が「一方通行」であることを条件にアマチュアはデジタル形式(ソーシャルメディアなど)で技術指導をすることに対して報酬を得ることができるようになります。この「一方通行」とはアマチュアが技術を行う方法を見せることはできますが双方向のコミュニケーションを用いて特定の個人やグループに技術指導(伝統的なレッスンですのような)をすることはできないことを意味します。

### 提案の説明：

- 技術指導はゴルフプロフェッショナルの伝統的な役割のとても大きな部分として残ります。注意すべき点は正しい技術指導をする方法を学ぶことはPGAの教育プログラムのカリキュラムの標準的かつ基本的な部分であるということです。
- 指導者として訓練を受けていない人が技術指導を行って報酬を得ることが出来るように見えるアマチュア資格規則のいかなる変更もこのゲームに弊害をもたらす可能性があるように見えます。一般論として、アマチュアが報酬のために技術指導を行うことが認められれば、そのような可能性を持っています。このことは技術指導をすることだけでなく、保険、顧客保護、技術指導をするための倶楽部の練習レンジや公のドライビングレンジの使用に関する問題にも当てはまります。
- 承認されたプログラムに関する現在の例外は国の統轄団体に承認されたことを条件にアマチュアが報酬のために技術指導をすることを認めていて、そしてこの方法により上記で示された潜在的なリスクを避けることが出来ます。
- アマチュアは引き続き教育機関やキャンプに雇用されることが認められています。この例外はティームコーチにそのコーチとしての技術指導以外の仕事はその人の役割のうちの少なくとも50%を構成しているのであれば、技術指導以外の仕事に加え、制限された技術指導を行うことを認める現実的な解決方法です。この例外は世界中の多くのゴルフティーム

やスポーツキャンプの一員である若いゴルファーにこのゲームに精通する人の指導のもとにゲームの基礎を学ぶ機会を与えます。

- ▶ アマチュアがゴルフ技術指導に関する本を執筆することを認める現在の規則はより近代的なデジタル形式に対する同じ原則を適用するために拡大されます。このことは氏名、画像と肖像に関する緩和に伴ってアマチュアが自分への注目度を高めることを可能にし、そしてアマチュアのゴルフ活動のためのスポンサーの援助を獲得する際にそのアマチュアを援助するかもしれません。しかし、そのような技術指導は特定されていない視聴者に行う場合だけに認められ、個人または特定のグループに対する報酬を伴う技術指導はゴルフプロフェッショナルに付託された権限であるという原則を保持します。

## 提案されたアマチュア資格規則の説明

### プロフェッショナリズム

**現在の規則：**アマチュアはプロフェッショナルゴルファーとして特定する、または活動するどのような行動もとることはできません；アマチュアはゴルフに関する契約を締結することはできません（プロフェッショナルゴルファーとしての将来の計画に適用する場合を除く）。

規則 2 はプロフェッショナルゴルファーを次の人であると定義しています：

- 自分の職業としてゲームをプレーする人。
- プロフェッショナルゴルファーとして働く人。
- プロフェッショナルとしてゴルフ競技に参加する人。
- プロフェッショナルゴルフ協会（PGA）の会員資格を持つ人。
- プロフェッショナルゴルファーにだけ限定したプロフェッショナルツアーの会員資格を持つ人。

**提案された新しい規則：**提案された新しい規定は「プロフェッショナルゴルファー」を定義しません。規則 2 はアマチュアゴルファーが以下を受け入れることを禁止しています。

- ゴルフクラブやドライビングレンジのプロフェッショナルとしての雇用(自営業を含む)；または、
- プロフェッショナルゴルファーに関する協会の会員(例えば、PGA)。

プロフェッショナルゴルファーとして単に自分自身を特定することそれ自体は、プロフェッショナルとして競技に参加またはプレーすることを含め、アマチュア資格を喪失する結果にはなりません。そして、アマチュアゴルファーがアマチュアとして契約を締結することやその契約から利益を受けることに関する制限はすべてなくなります。

### 提案の説明：

- 2022 年のために提案された規則はアマチュアがノンアマチュアになる方法を減らそうとしています。しかし、特定の行為はプロフェッショナルの伝統的な役割の大きな部分として残っています。
- このことは雇用に関して最も明白です。つまり、ゴルフプロフェッショナルとして雇用された人はアマチュアとはみなされません。そして、このことは、プロフェッショナルゴルファーのための協会の会員である人にも適用されます。
- この雇用に関連する区別は近代化される規定の中にも現状のまま残ります。そうすることで、主にゴルフプロフェッショナルとしての雇用はアマチュアと区別するという原則がより良く理解されやすくなる一方で、この規定を他の領域で簡潔にすることができます。



- 上記の区別が雇用と会員の両方に関連する一方で、提案された新しい規則では、どのような立ち位置でゲームをプレーするかを（上記の区別と）同様には扱わず、その代わりに、限度額を超えた賞を受け取ったのかどうかだけに係ることになります（「賞」を参照）。
- このことは、単に自分自身をプロフェッショナルゴルファーとして特定することやプロフェッショナルとして競技に参加することそれら自体は提案された新しい規則の下では個々人のステータスを変えるものではないことを意味します（「賞」を参照）。
- 契約は、製品やサービスの個人的な使用がどのように補償されるのかを主に定めますし、あるいはゲームのプレーにも関連します。そして提案された規則はアマチュアが氏名、画像または肖像を利用させることによる利益を制限していないので、この領域のすべての契約に関する制限は削除されます（宣伝；氏名、画像と肖像を参照）。

## 提案されたアマチュア資格の説明

### 復帰

**現在の規則：**規則 9 はノンアマチュアが復帰のための申請をできる手続きだけでなく、国の統轄団体がこのような申請を管理することを取り扱う推奨ガイドラインを規定しています。

規則 9 はまた以下のことを規定しています：

- ▶ 全国的に著名なプレーヤーや、2 回復帰したノンアマチュアは通常は復帰する権限がないことの推奨。そして、
- ▶ 復帰を待つ申請者の規則上の扱いは手続きが完了するまでは彼らがアマチュアではないことを明確にしているが、委員会やトーナメント主催者の自由裁量でさらにプレーする機会を得ることもありえる。

**提案された新しい規則：**現在の規則に含まれる重要な運営手続きはほとんど変わらずに提案された規則の中に残ります。

しかしながら、推奨される最も短い待ち期間は 1 年から 6 カ月に減らされました。なお、申請者のノンアマチュアとしての活動実態に基づいて追加の時間が適切であるかどうかを評価することは国の統轄団体に任せられています(例えば、ノンアマチュアとしての申請者のプレー記録の審査に基づく追加時間)。

### 提案の説明：

- ▶ 復帰手続きはアマチュアとノンアマチュアの区別を保持する際の不可欠な要素を規定し、そしてゴルファーが勝手にアマチュアとノンアマチュアの間を行き来することができないようにします。
- ▶ プレーヤーのノンアマチュアとしての最後の行動とそのプレーヤーの復帰日との間に特定の期間があってからアマチュアとして競技する権利ができるようにするために待ち期間が各申請者に割り当てられます(下記ガイダンスノートを参照)。
- ▶ この待ち期間は、アマチュアがノンアマチュアになることを決定する(例えば、限度額を超える賞を受け取る)前に、もしそのような行動をするとアマチュア資格の復帰を申請しようとしたときに待ち期間が必要となることを知ることで、一旦考える時間を与えるようにします。
- ▶ 最短の待ち期間をさらに短縮することは、多くのゴルフプロフェッショナルとインストラクターがより速やかにアマチュアへ復帰できるようになります。一方で、各国の統轄団体にノンアマチュアとしてのプレー経歴により証明されるような成功を達成した申請者に対して更なる時間を追加する裁量を与えています。
- ▶ これはすべての行動を同じに扱う現在の推奨と比較したときにより論理的なバランスをもたらします(現在のゴルフプロフェッショナルの経歴に対する 2 年の待ち期間はそのプレーヤーのプレーの成功に関わらず推奨されています)。

- ▶ 申請手続きそれ自体は各国の統轄団体が各申請を審査する機会を持ち、そしてその状況に基づいて適切な待ち期間となるものを考慮して適用できるように必要なフレームワークを提供します。
- ▶ 復帰を拒否することは選択肢として残りますが、それは限定された状況にのみ適用されます。例えば、プレーヤーが全国的に著名である場合などです。
- ▶ 復帰を拒否する決定は 3 回目の復帰を求める個人にも適用されますが、その申請者の国の統轄団体は、通常その申請者の全体の申請履歴と直前の復帰の状況を審査することになります。

復帰に関する統轄団体のガイドラインは現時点では新しいアマチュア資格規則の一部として組み入れることは意図されていないので、次のガイダンス案が規則に追記されることになるでしょう。

#### **復帰ガイダンスノート：**

アマチュア資格規則はアマチュアゴルファーとノンアマチュアゴルファーとを区別します。したがって、アマチュア資格の復帰を望むノンアマチュアゴルファーのための復帰手続きが必要です。

復帰手続きはノンアマチュアに復帰申請書とそのプレーヤーの国の統轄団体に提出させるべきです。その国の統轄団体は復帰の前に待ち期間を求めるか、例外的な場合は復帰を拒否します。

復帰のための最短の待ち期間は 6 カ月が推奨されますが、国の統轄団体は、例えば、申請者の競技で獲得した賞に関する成功に基づきその期間の延長を望むことができます。

復帰のための待ち期間を決定する際、国の統轄団体は申請者のノンアマチュアであった期間の長さを考慮する必要はありません。